



2020年3月期 第2四半期 決算説明会資料

因幡電機産業株式会社 東証一部：9934

2019年12月5日

- 2020年3月期 第2四半期 決算概要
- 今後の事業戦略
- 2020年3月期 業績予想
- 株主還元

見通し、計画、目標等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

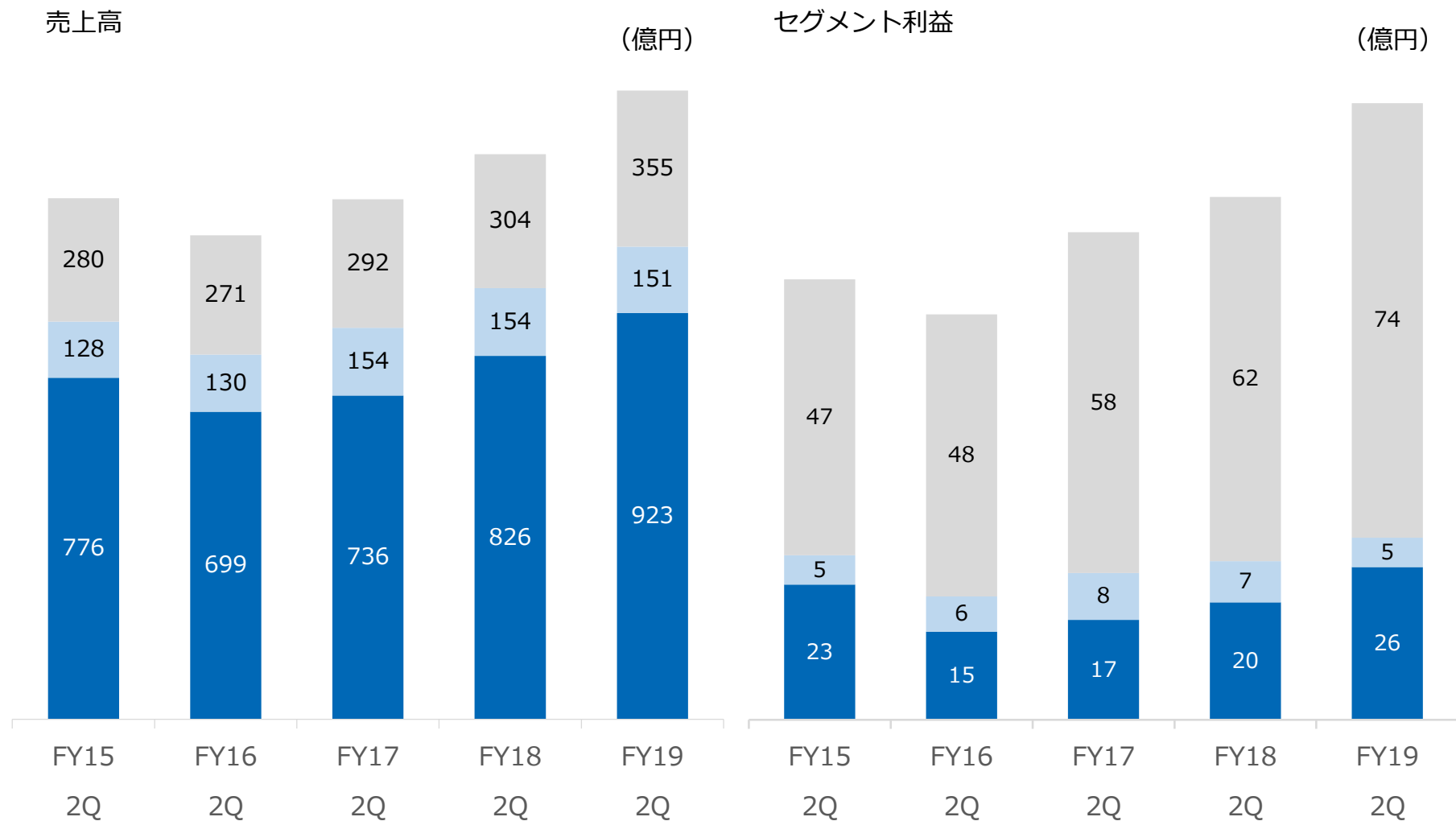
連結損益計算書

(百万円)

	FY18 2Q	構成比	FY19 2Q	構成比	増減額	増減率
売上高	128,570	100%	142,940	100%	14,370	11.2%
売上総利益	21,387	16.6%	24,270	17.0%	2,882	13.5%
販管費	14,270		15,344		1,074	7.5%
営業利益	7,117	5.5%	8,926	6.2%	1,808	25.4%
営業外損益	358		136		-221	
経常利益	7,475	5.8%	9,062	6.3%	1,586	21.2%
特別損益	-32		-9		23	
税金等調整前 四半期純利益	7,443	5.8%	9,052	6.3%	1,609	21.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,956	3.9%	6,094	4.3%	1,137	23.0%

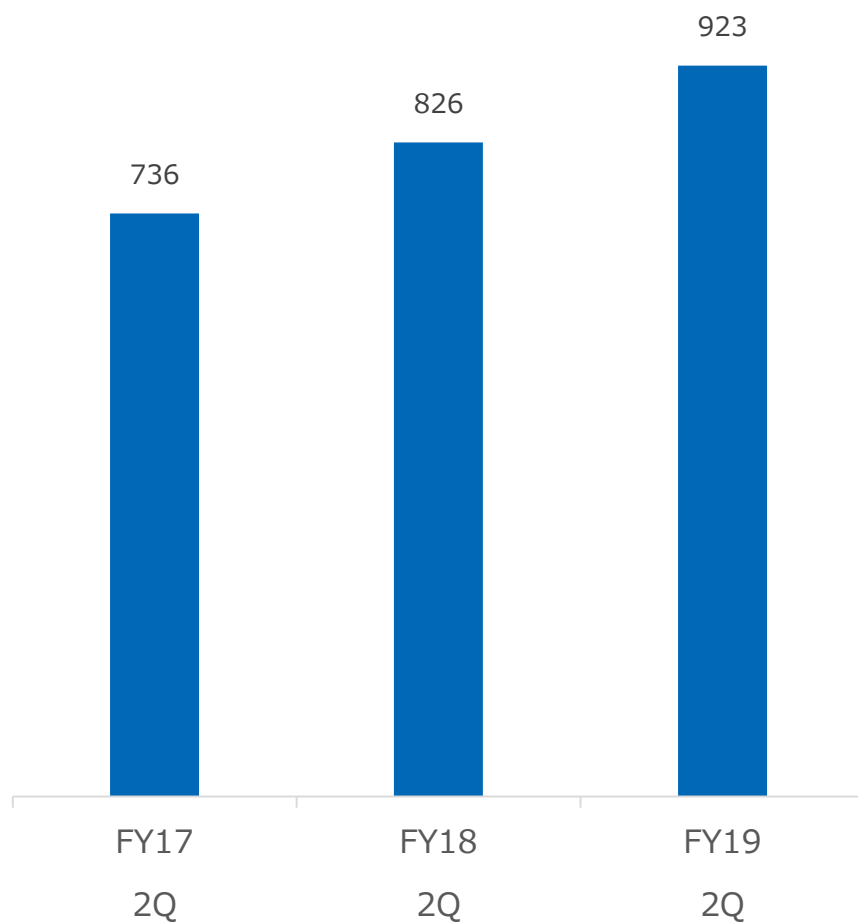
セグメント別 業績推移

■ 電設資材 ■ 産業機器 ■ 自社製品



売上高

(億円)



売上高 前年同期比+11.7%

東京オリンピック関連需要などを背景に電線ケーブル類の販売が増加したほか、西日本エリアで大型案件を受注したことにより、受配電設備や空調設備の売上が好調に推移

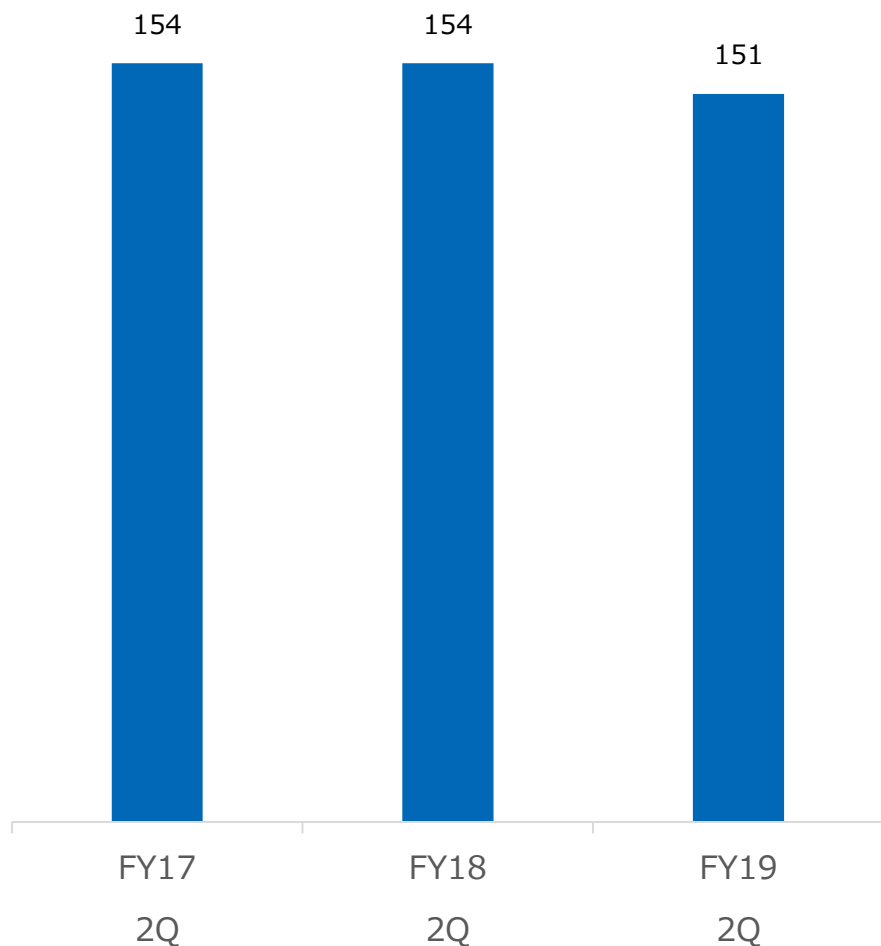
参考指標

	前年同期比	
	FY18 2Q	FY19 2Q
民間非居住建築物 着工床面積	Δ1.2%	Δ5.5%
新設住宅着工戸数	Δ1.1%	Δ5.0%

出所：国土交通省

売上高

(億円)



売上高 前年同期比▲2.4%

人手不足に伴う省力化投資の拡大に伴い、ロボット関連やAGVの売上が増加したものの、半導体関連を中心とした設備投資の先送りによって、制御機器及び電子部品の販売が減少

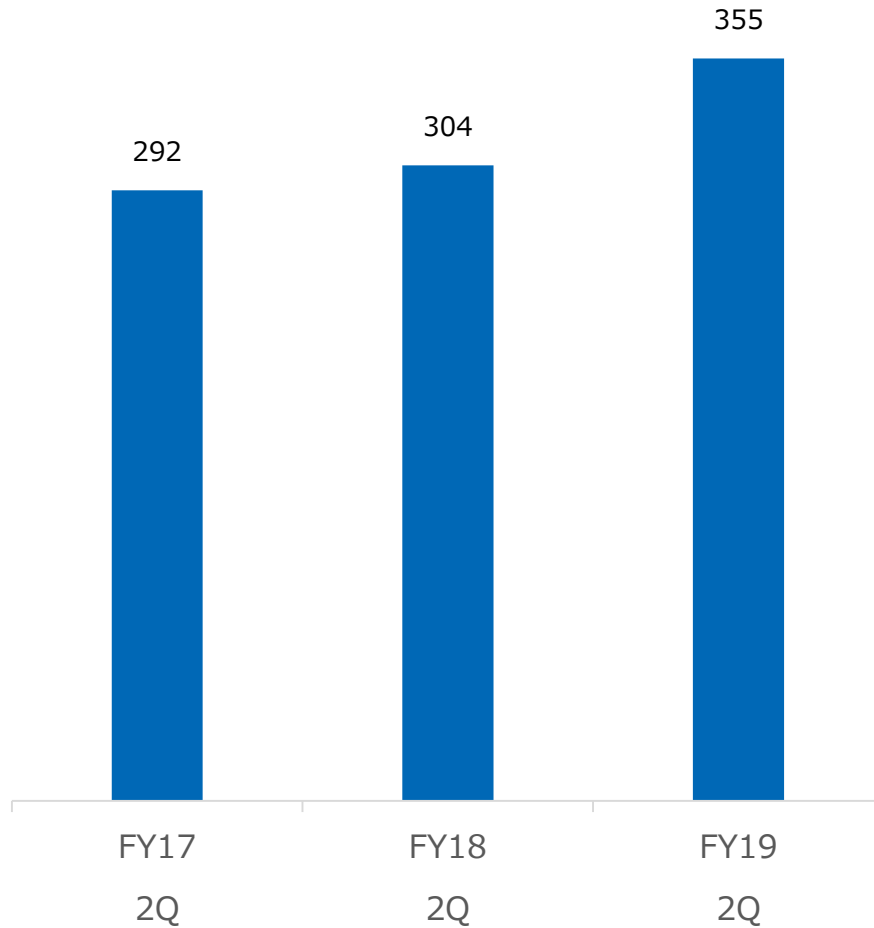
参考指標

	前年同期比	
	FY18 2Q	FY19 2Q
電気制御機器 国内出荷額	+1.2%	▲7.1%
電子部品・デバイス 生産実績	▲4.4%	▲12.8%

出所：日本電気制御機器工業会
電子情報技術産業協会

売上高

(億円)



売上高 前年同期比+16.7%

政府の熱中症対策による学校空調の導入拡大を受け、被覆銅管が大幅な増収となったほか、空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」などの売上が伸長。

自社ブランド

INABA DENKO

Abaniact

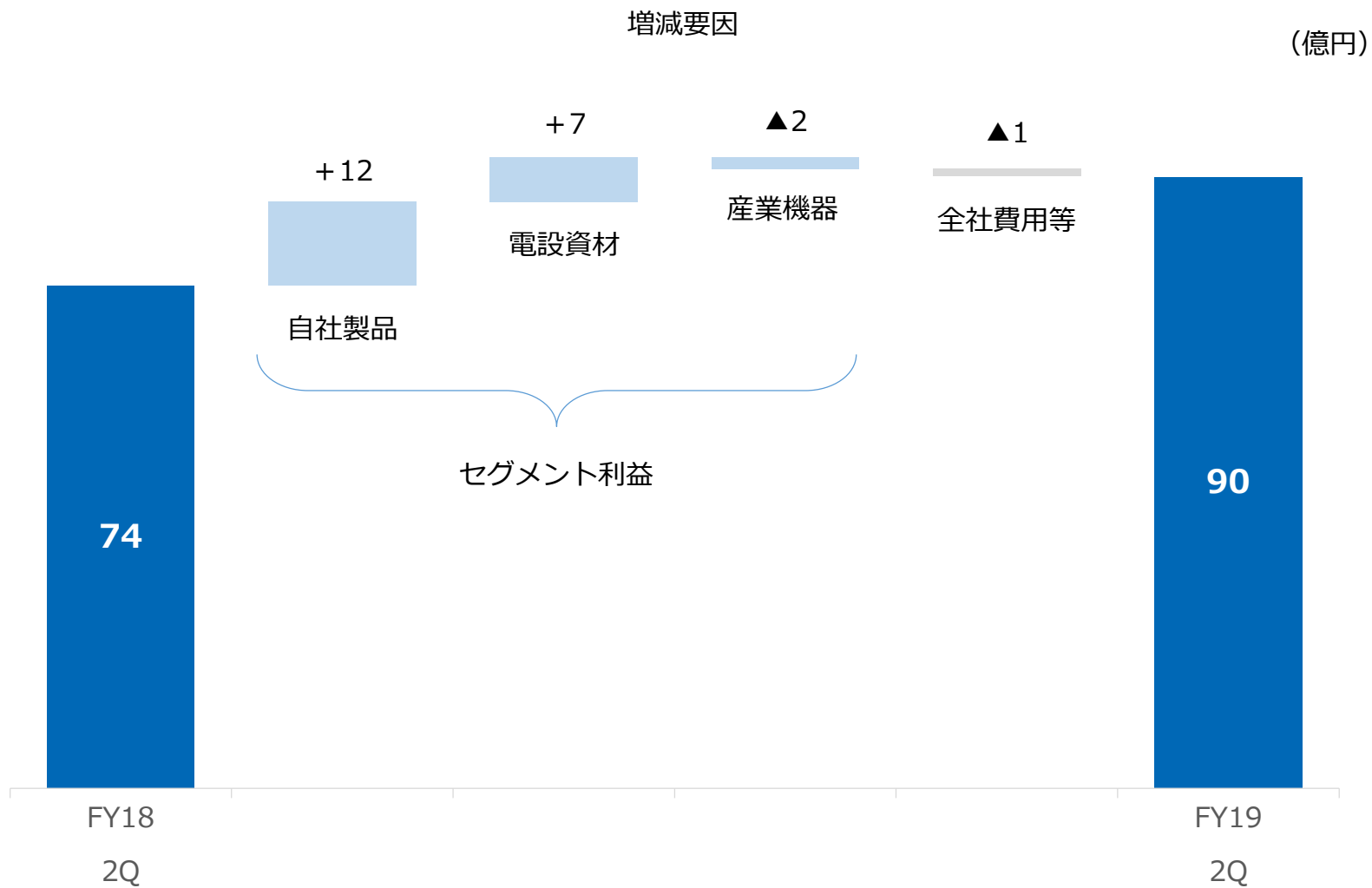
PATLITE

営業外損益

(百万円)

	FY18 2Q	FY19 2Q	増減額	増減率
受取配当金	337	199	-138	-41.0%
仕入割引	496	533	37	7.5%
その他	223	196	-26	-11.9%
営業外収益 (A)	1,057	929	-127	-12.1%
売上割引	647	716	68	10.6%
その他	51	77	25	49.3%
営業外費用 (B)	699	793	93	13.4%
営業外損益 (A - B)	358	136	-221	-61.9%

税金等調整前四半期純利益



連結貸借対照表

(百万円)

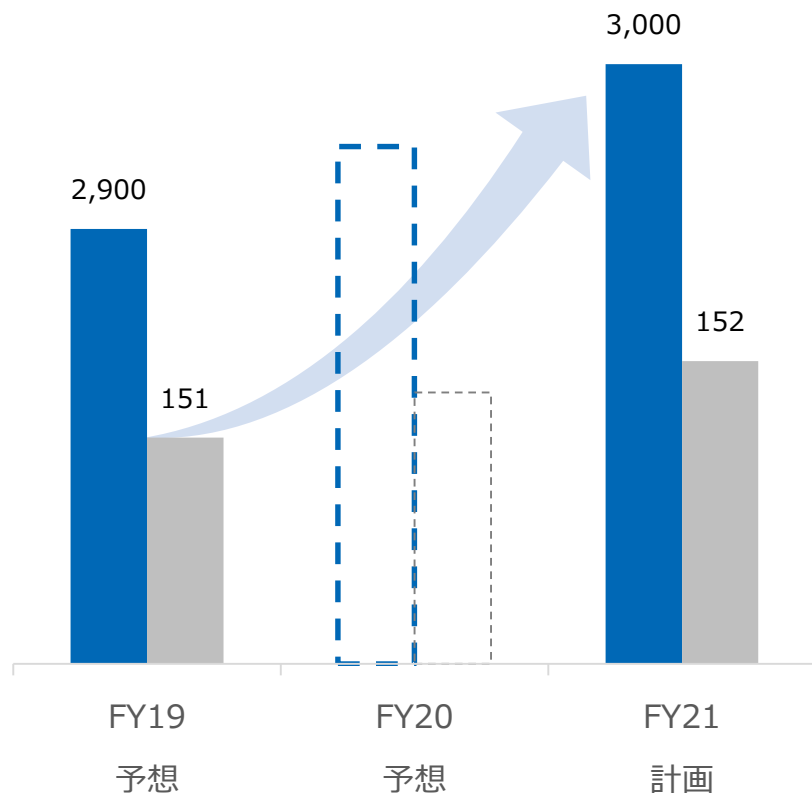
	FY18	構成比	FY19 2Q	構成比	増減額	増減率
流動資産	162,999	81%	159,281	80%	-3,717	-2%
固定資産	39,455	19%	39,431	20%	-24	0%
資産合計	202,454		198,712		-3,742	-2%
流動負債	74,157	37%	64,974	33%	-9,183	-12%
固定負債	5,697	3%	6,502	3%	805	14%
負債合計	79,855	39%	71,477	36%	-8,378	-10%
純資産合計	122,598	61%	127,235	64%	4,636	4%

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	FY18 2Q	FY19 2Q	増減額
営業キャッシュ・フロー	4,053	8,463	4,410
投資キャッシュ・フロー	-1,750	-2,124	-374
財務キャッシュ・フロー	-1,774	-1,667	107
現金及び現金同等物にかかる換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	527	4,672	4,144
現金及び現金同等物の期末残高	59,400	63,497	4,096

■ 売上高 ■ 営業利益 (億円)



重点施策

自社製品の開発・拡充

省エネ・
省力化ソリューションの推進

首都圏市場における
シェア拡大

グローバル展開の加速

自社製品の開発・拡充

収益力のある自社製品（P B商品を含む）を開発・拡充

INABA DENKO



Abaniact



PATLITE

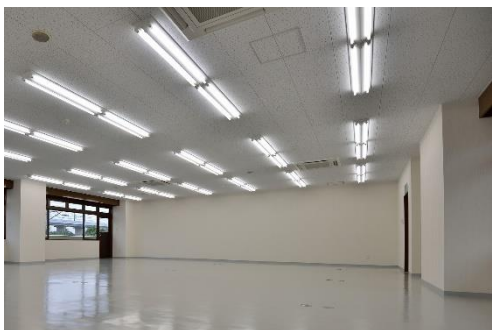


JAPPY



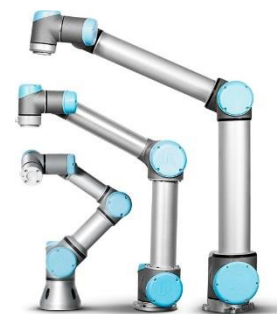
環境配慮型商品

LED照明、太陽光発電など環境に配慮した商品
を拡販



協働ロボット

省力化に向けた協働ロボットの導入、
システム構築などを支援



ユニバーサルロボット URシリーズ



ABB YuMi



川崎重工 duAro

首都圏市場におけるシェア拡大

東京オリンピック

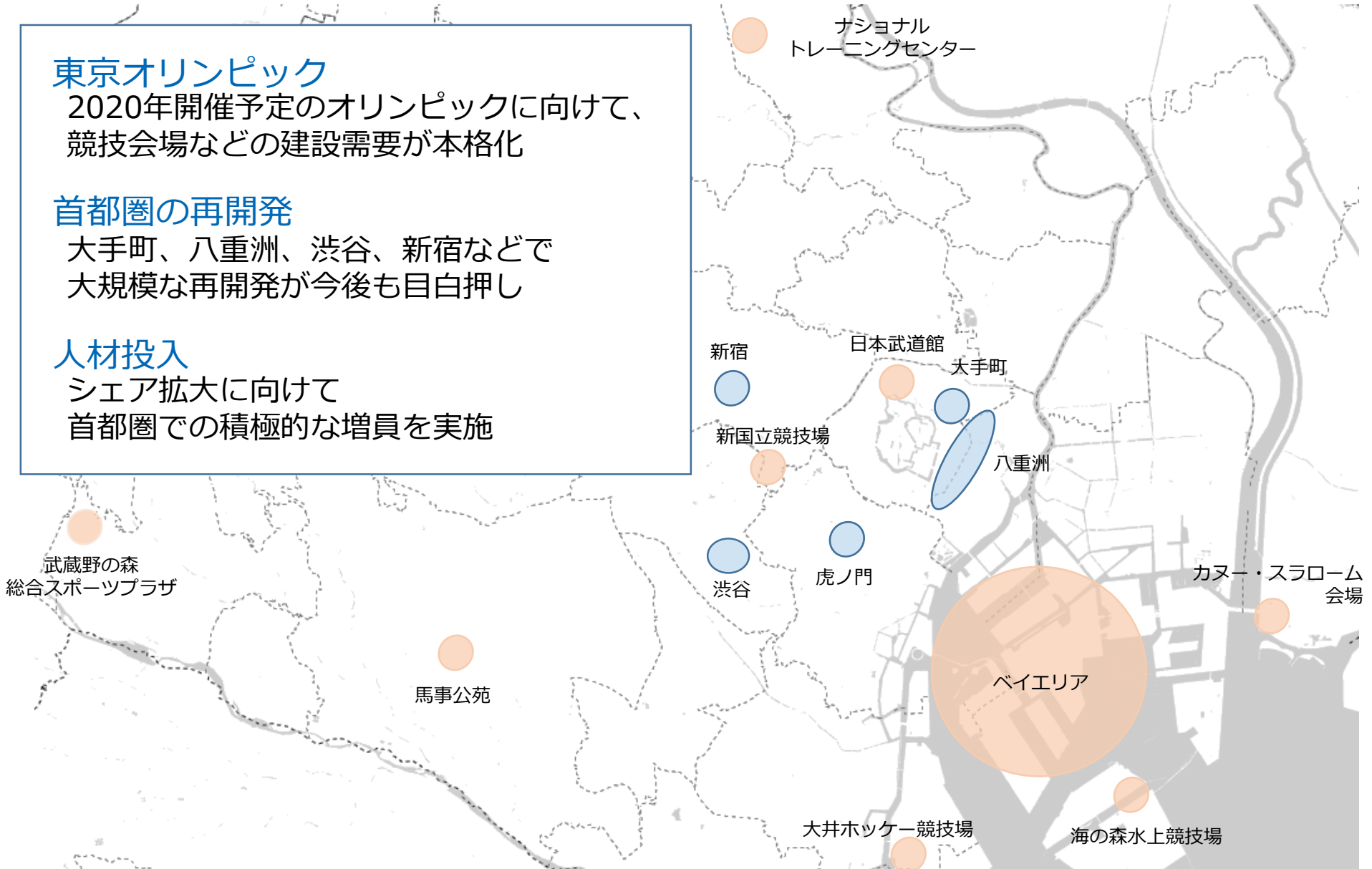
2020年開催予定のオリンピックに向けて、
競技会場などの建設需要が本格化

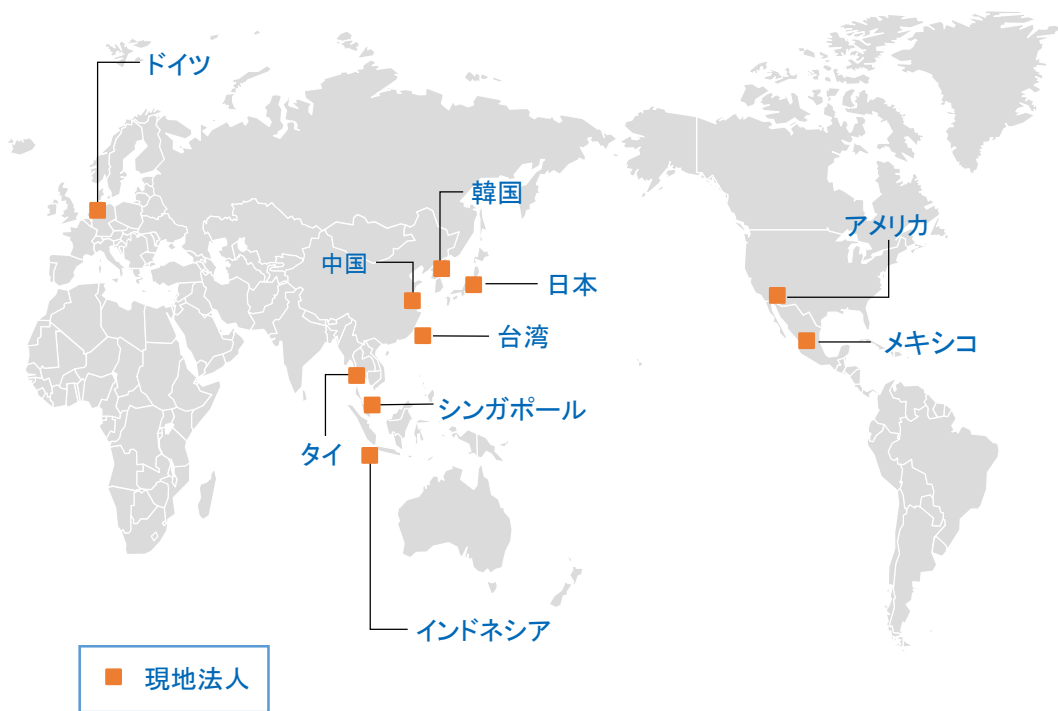
首都圏の再開発

大手町、八重洲、渋谷、新宿などで
大規模な再開発が今後も目白押し

人材投入

シェア拡大に向けて
首都圏での積極的な増員を実施





グループ一丸で海外展開を推進

PATLITE

海外ロジスティック推進課を新設



顧客満足度の向上、在庫適正化、生産平準化



空調部材の海外生産拠点

2020年3月期 業績予想

(百万円)

	FY18	構成比	FY19	構成比	増減額	増減率
売上高	278,525	100%	290,000	100%	11,474	4.1%
営業利益	14,114	5.1%	15,100	5.2%	985	7.0%
経常利益	14,477	5.2%	15,300	5.3%	822	5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,462	3.4%	10,000	3.4%	537	5.7%

(セグメント別売上高)

電設資材	189,450	68%	200,000	69%	10,549	5.6%
産業機器	32,014	11%	32,500	11%	485	1.5%
自社製品	57,061	20%	57,500	20%	438	0.8%

株主還元

株主還元方針

配当と自己株式の取得を合わせた中期的な総還元性向を50%程度とする



2021年3月期までの3期累計で50億円程度を目処として実施

自己株式の取得

2019年11月25日開催の取締役会における決議内容

取得期間：2019年12月2日～2020年1月10日
取得方法：市場買付
取得株数：70万株（上限）
取得金額：17億円（上限）

<参考> 自己株式取得実績
2019年3月期 17億円

株式分割

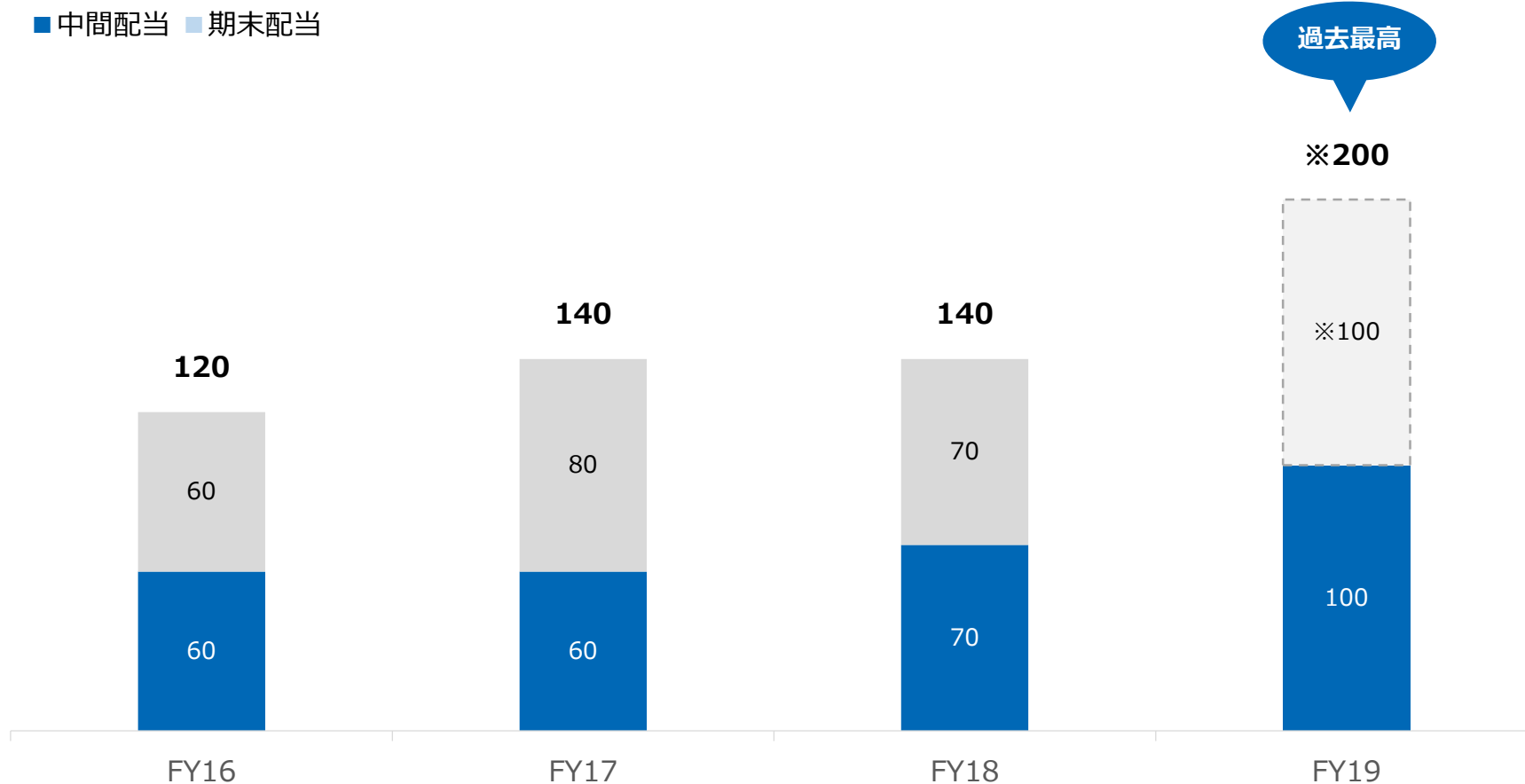
目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、
株式の流動性を高めるとともに投資家層の拡大を図る

<株式分割の概要>

分割比率	1 : 2
基準日	2019年11月30日
効力発生日	2019年12月1日

1株当たり配当金



※当社は2019年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で分割を行っており、上記の配当金は株式分割前の金額を記載しております。